

ここが聞きたい

Q & A

平成23年度一般会計決算

Q 未収金が、水道会計を含め2億9400万円ぐらいある。どういう方法で回収していくのか。

A 税を含めて滞納が増えており危惧している。

Q 補助金の支出が随分ある。見直しを審議会等第三者機関でやるつもりはないか。また、交付の決定はどのようにしているか。

A 度々の見直しで相当削減したが、一定の年数がたてば見直しも必要とは思っている。補助金は規則に基づき審査をして交付決定するようにしている。

平成23年度黒潮町農業集落排水事業特別会計決算

Q 加入率は増えているが、その分母となる地域の人口は減少しているのではないか。

A 死亡等によって人口減になつてはいるが、今年も3戸、昨年1戸と増えている。現在は、蜷川で約70%弱。出口で44%の加入となっている。

平成23年度黒潮町情報センター事業特別会計決算

Q 会計初年度から収入未済額が発生している。集金の方法に工夫が必要ではないか。

A 特別な徴収活動はしていないが、一定の期間使用料が入つてこない場合は放送通信を停止している。

黒潮町立大方あかつき館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

Q なぜ指定管理とするのか。

どのような部分でサービス向上となるのか。また、館長も民間とするのか。

A 館長を含め民間の力を活用し、更なるサービスの向上を目指したい。

費用では、人件費の部分で大体240万円ぐらい減額となる。指定管理となつても文化関係の業務は行政に残るので連携を取りながら進める。

平成24年度黒潮町一般会計補正予算

Q 防災対策
集会所の工事費8千万円はどこか。

A 津波浸水予想区域6カ所の集会所を移転予定。国、県の防災対策推進の有利な事業を入れたということ。予算を計上したが、場所が確定しているわけではない。

スマートタウン構想

Q スマートタウン事業の充電スタンド8台と、エネルギー

管理システム5台はどのように活用するのか。

また、エネルギー管理システムとは何か。

A 町が進めているスマートタウン構想とは、情報基盤を使ってエネルギーを考え、地球に優しいまちづくりをしようとするもの。民間企業と町で、実証実験を連携して取り組んでおり、電気自動車の充電スタンド2カ所を設置している。更にあと8カ所のスタンドを企業の方から貸与していただくための工事費を計上した。

場所は、ビオスおおがた、宮川公園、ネスト、海のバザール、西南大規模公園体育館前、大方庁舎、佐賀庁舎、黒潮一番館に設置予定。

エネルギー管理システムは、各家庭の電気メーターを人的に調査しているが、すべて遠隔管理とし、どの時間帯にどのような電気が使われるか、必要な電気量の節約ができないか等を検討する仕組みで、将来的には、見守りシステム



大西町長